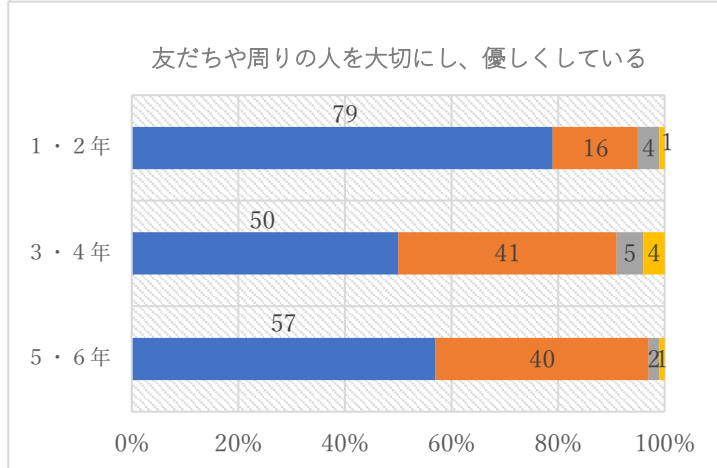
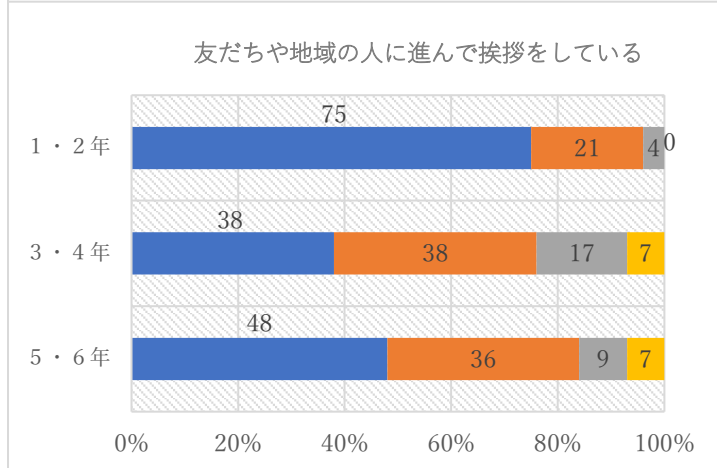
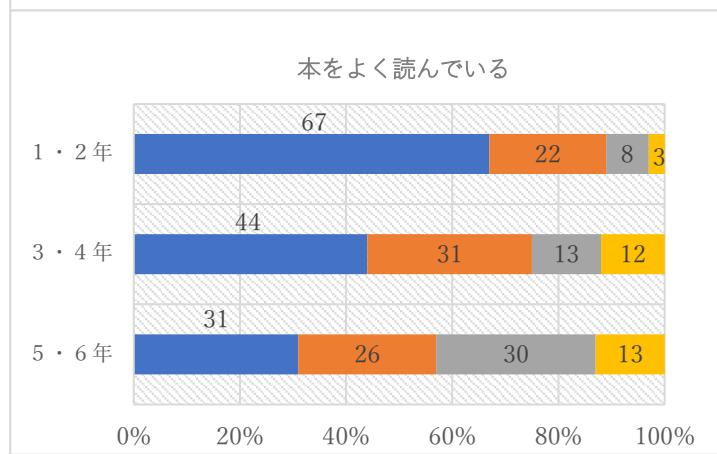
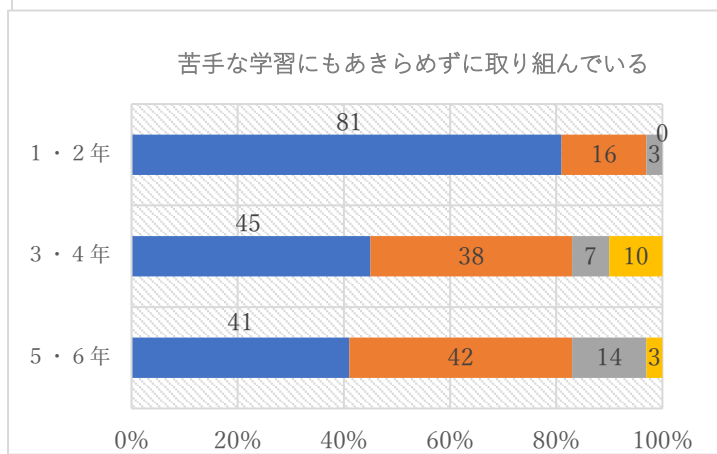
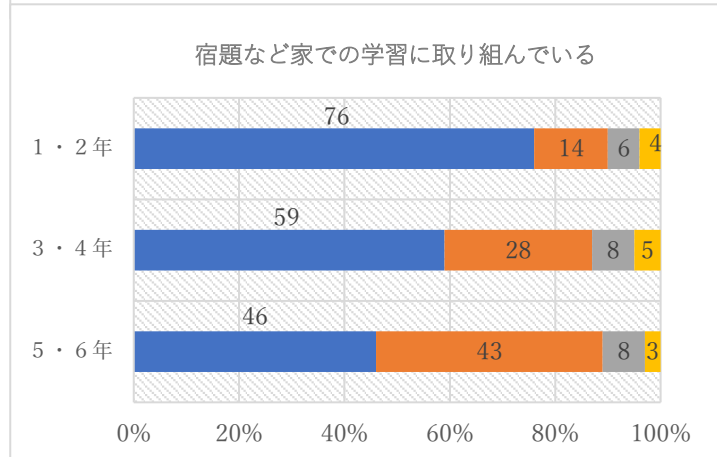
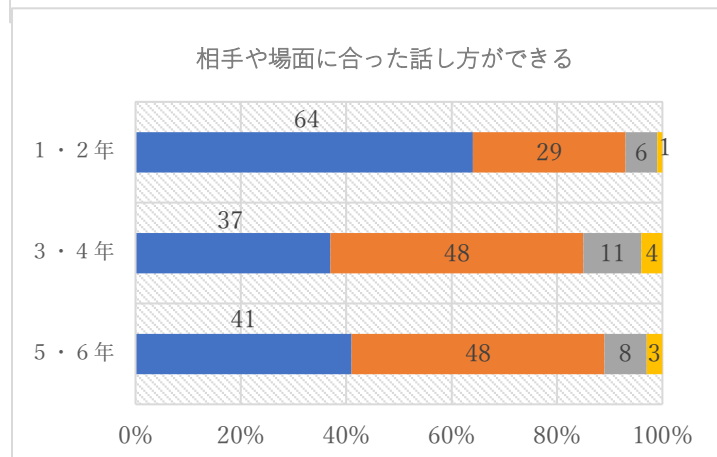
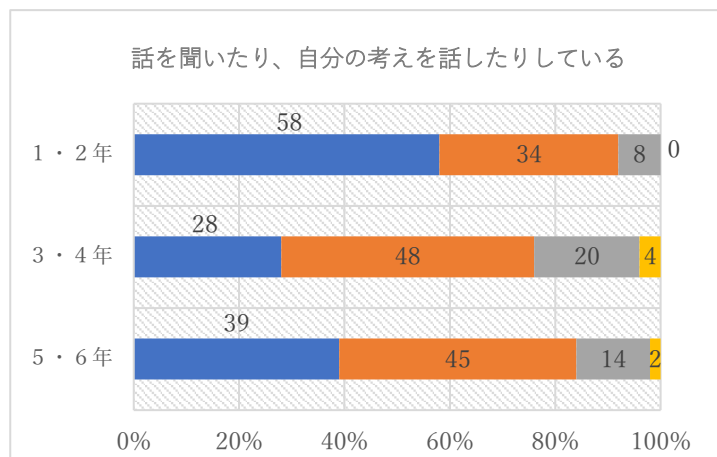
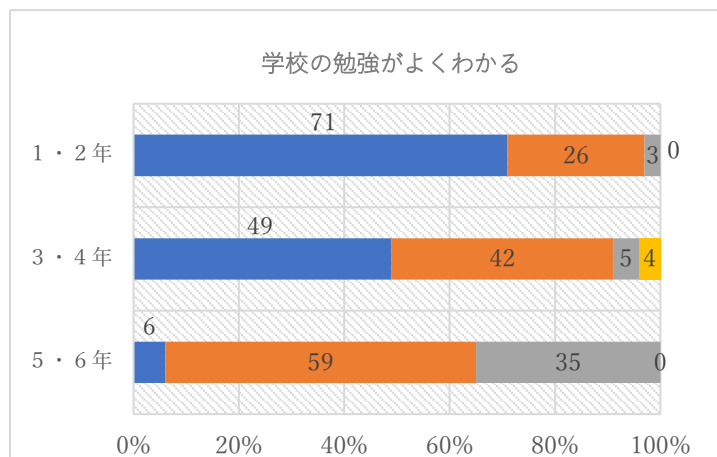


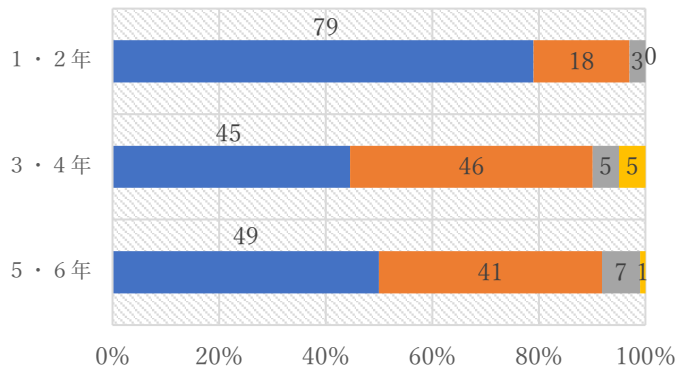
朱八小 前期 ふり返りアンケートの結果【令和7年度7月実施】

平素は、本校教育推進にご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。7月に実施しましたアンケートの結果をお知らせいたします。保護者の方々からも多くのご回答をいただきました。心より御礼申し上げます。

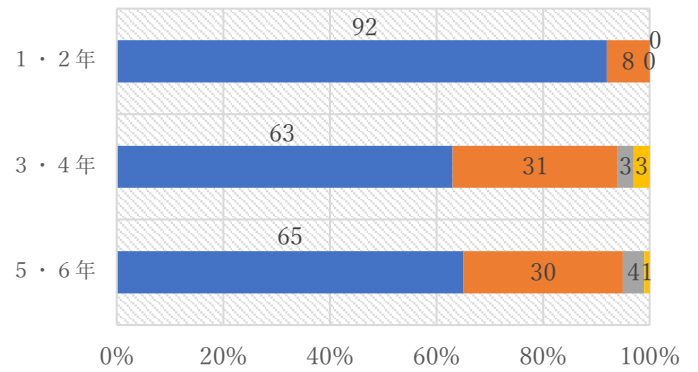
児童の回答結果 そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 【百分率(%)で表示】



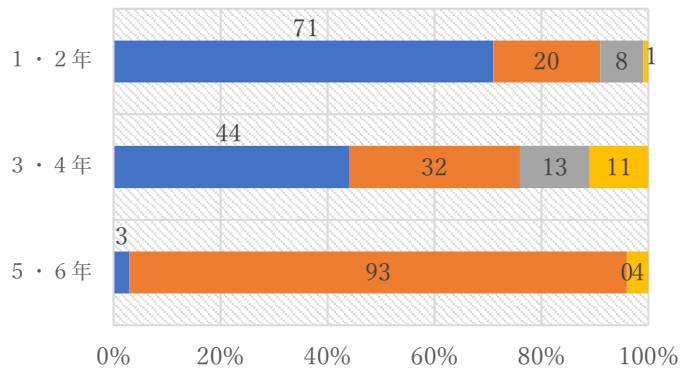
クラスや学校のきまりを守っている



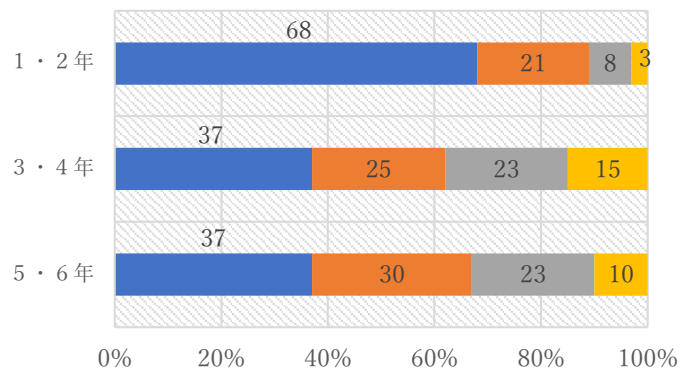
自分やみんなのものを大切にしている



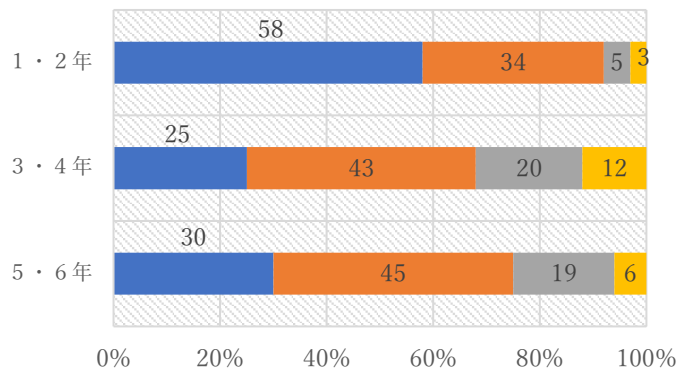
困ったことは家族や先生に相談している



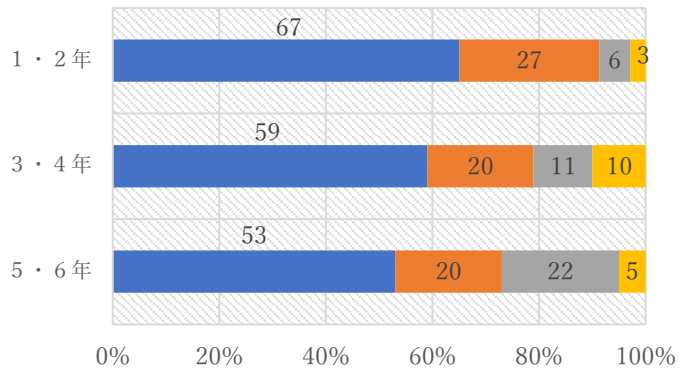
自分のよいところがわかる



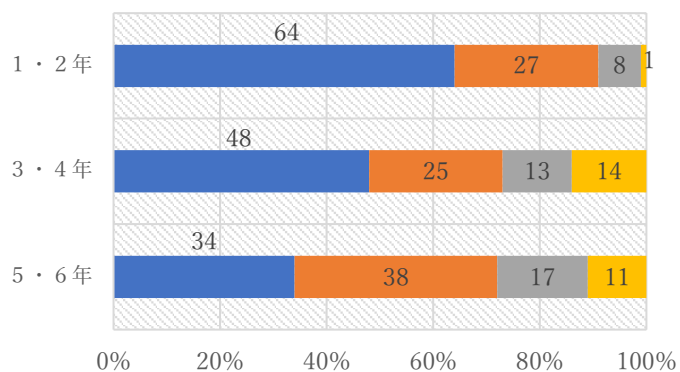
早寝・早起きなど健康的な生活をしている



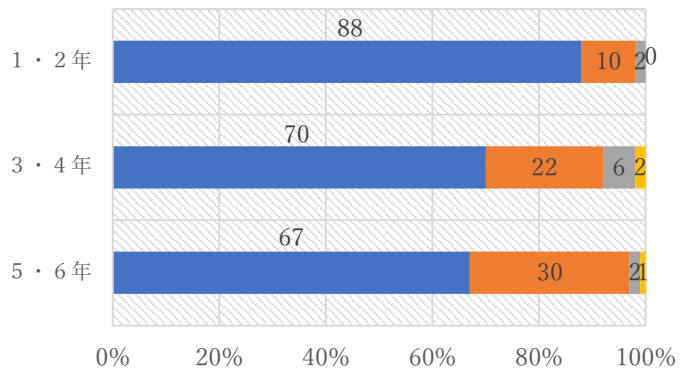
運動や外あそびをしている



食べ物の好き嫌いをしないようにしている

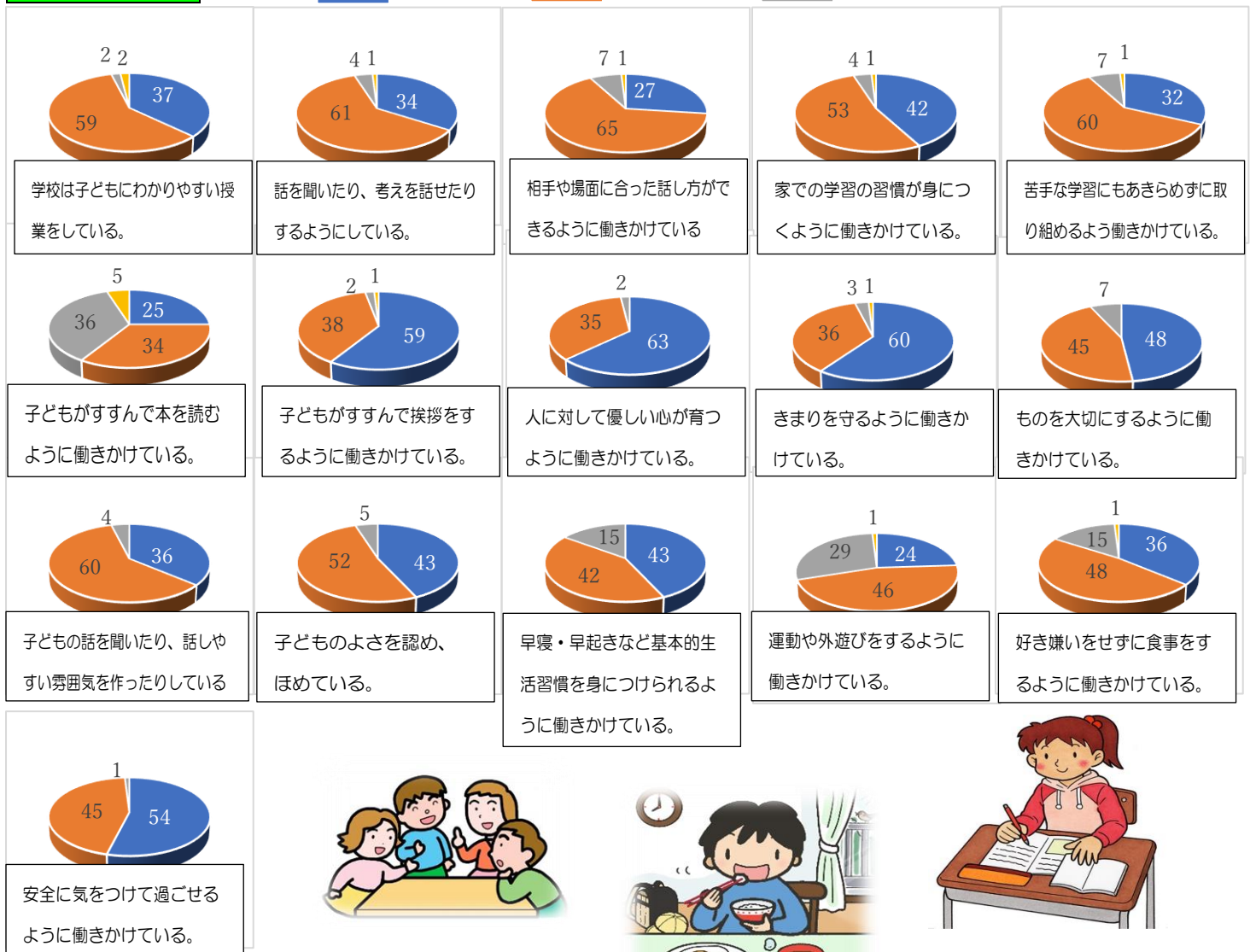


安全に気をつけて過ごすようにしている

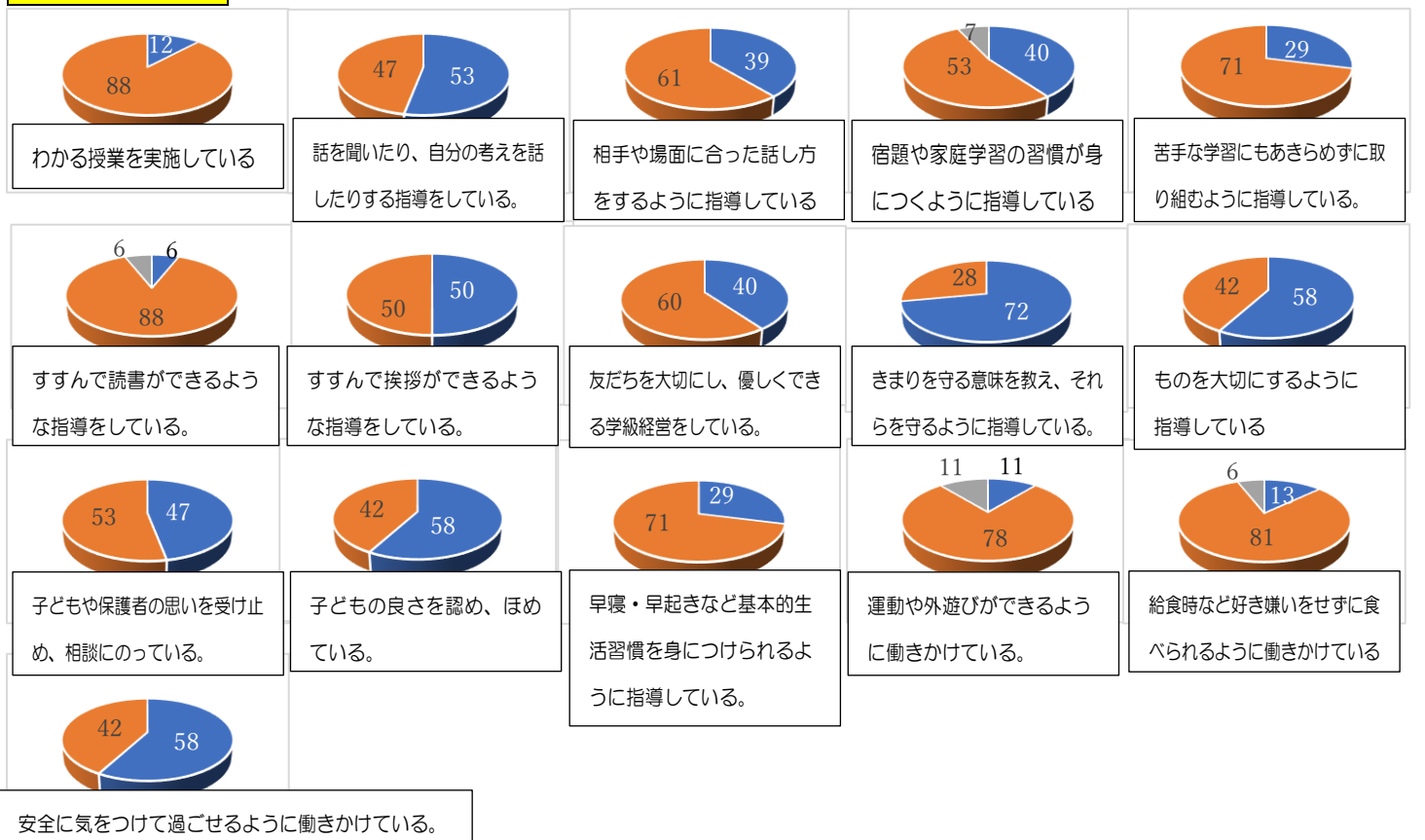


保護者の回答結果

そう思う ■
 だいたいそう思う ■
 あまりそう思わない ■
 そう思わない ■
 【百分率(%)で表示】



教職員の回答結果



「確かな学力の育成」について 児童の『学校の勉強がよくわかる』の質問に、「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した割合が、前回と比べて、低学年（94％）は増加していましたが、中学年（91％）・高学年（65％）ともに減少しており、とくに高学年については3割以上の児童が「あまりそう思わない」と回答しています。教員の『わかる授業を実施している』の質問に、「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した割合が0なのを鑑みても、教員の授業への熱量や工夫が児童に完全に届いていないと言え、授業者一人ひとりのさらなる授業改善が求められています。今後も、外部研修に積極的に参加をしたり、校内研修を充実したりして、学校全体で授業力の底上げを図っていきます。また、児童の『宿題や家での学習に取り組んでいる』の質問に、「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した割合が全学年9割程度と、前回から引き続き高い値でした。これは、保護者の『家での学習の習慣が身につくように働きかけている』の質問にも、「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した割合が95％と、多くのご協力を得られており、その成果でもあると言えます。いつもありがとうございます。本校では、全学年で家庭学習の充実に努めており、授業の予習や復習を中心に、児童が自分で目的をもって自主学習に臨めるのが6年生の姿となるように、低学年から取組を進めています。今後とも、ご家庭でも励ましのお声かけをお願いします。

「よりよい人間関係作り」について 児童の『周りの人を大切にしている』の質問に、「そう思う」と答えた割合が、前回と比べて、中学年（50％）は5ポイント減少していたものの、低学年（79％）・高学年（57％）ともに10ポイント以上増加していました。また、児童の『友だちや地域の人に進んで挨拶をしている』の質問に、「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した割合が、前回と比べて、中学年（76％）・高学年（84％）はほぼ変化なしでしたが、低学年（96％）は20ポイント増加していました。学校では、「挨拶はお互いの心を通わせ合える魔法であり、たくさんの人に挨拶をしよう」と指導しています。今後も児童には、挨拶を自ら充実させることによって、友だちとの関係を円滑かつ良好に築いてほしいと思います。学校では、2学期以降もさまざまな場面で、お互いのよさや違いを認め合える取組を進めていきます。一方で、中学年児童の『困ったことは家族や先生に相談している』の質問に、「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した児童が、25％と注視すべき数値となっています。悩みごとや困りごとを一人で抱え込みやすい児童が一定数いることを踏まえ、教職員も常にアンテナを張る必要があります。（教職員の『子どもの思いを受け止め、相談にのっている』に「そう思う」と回答した割合は47％）ご家庭でもお子さんに気になる言動があれば、情報共有をお願いします。

「基本的な生活習慣の確立」について 児童の『早寝・早起きなど健康的な生活をしている』の質問に、「そう思う」と答えた割合が、前回と比べて、中学年（25％）は10ポイント減少していましたが、低学年（58％）は14ポイント、高学年（30％）は8ポイント、それぞれ増加していました。ある研究によると、「早寝・早起き・朝ごはん」の意識は、「健康な体づくりと学力向上」と因果関係があることがわかっているそうです。日常的に睡眠や朝食はしっかり摂り、学校では有意義な一日を過ごしてほしいと思います。学校でも、保健学習や学級活動等での指導の充実を図っていきます。（教職員の『早寝・早起きなど基本的な生活習慣を身につけられるように指導している』に「そう思う」と回答した割合は29％）また、児童の『安全に気を付けて過ごすようにしている』の質問に、「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した割合は、前回に引き続き、全学年90％以上と良好な結果でした。日頃から地域やPTA、保護者の皆様には、登下校の見守り等、さまざまな形で児童の安全をサポートしていただいております。感謝申し上げます。（保護者の『安全に気を付けて過ごすように働きかけている』に「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した割合は99％）このような皆様の取組が、児童の意識にも好影響を与えていると考えられます。学校でも、児童の命を守ることを最優先に、日々の活動に取り組んでいきます。

保護者の方からの自由記述より（一部抜粋）

多様なご意見をいただき、ありがとうございました。「4時間授業の日が増えて困っている。また、授業時間は足りているのか」というご意見がありました。ご迷惑をおかけして申し訳ありません。今年度より、月1回「スキルアップデイ」という京都市立学校統一研修日や、2ヶ月に1回程度「ライフワークバランスデイ」という定時退勤日を設けているため、例年より時数は減っておりますが、文科省が定める標準時数は各学年クリアしています。限られた時間の中で年間計画を工夫し、学力向上に努めています。また、「給食時間が短くてゆっくり食べられない」というご意見もありました。本校では給食時間45分中、目安として15分間を準備・片付け、30分間を食事の時間としています。しかし、稀に前時の授業の関係で給食時間がタイトになっていることもあります。そうならないように給食時間を確保できるように努めていきます。